

代表質問

100周年事業の振り返りと学校再編計画の見直し

市長の政治姿勢
100周年を振り返って

問 昨年3月の市制施行100周年のセレモニーから多くの取り組みが行われたが、1年を振り返っての市長の総括は。

答 一部の事業が残っているが、今後も多くの事業に取り組まれた皆様と連携・協力し、まちづくりに取り組みたい。

問 今年もジャー坊がゆるキャラグランプリにエントリーすると思うが、目標順位は。

答 昨年より上位が目標だが、三池初市では1位を目指すとかけ声をあげたところ。

教育の充実と教育予算

問 教育予算比率が5.6%と昨年より低いのが市長の考えは。

答 学校再編整備や空調設置事業など、ハード整備の減少が主な要因だが、ソフト事業の充実など、将来のまちづくりを担う人材の育成のため、教育の充実を図っていききたい。

問 教育の充実を図るのであれば、教育予算を拡充して環境整備を図るべきと思われるが、市長の考えは。

市庁舎の整備手法の検討

問 市庁舎の改修・建て替えは今後50年を見据えた重要な事業だが、市長の決意は。

答 検討を前倒しで進める中、財源も含め難しい政策課題だが、市民の意見等を聞きながら早急に取り組むたい。

問 市民アンケートの意見聴取の方法や市民への説明は。

答 無作為抽出した2,000名の市民を対象に、課題ごとに設問したアンケートを実施予定。また、市民への説明会なども必要だと考えている。

再発言 財政負担を含めベストな方法に導くためにも、市民の意見を十分に聞かれない。

地域公共交通網形成計画

問 交通政策基本法の趣旨にある日常生活等に必要交通手段の確保に対する具体策は。

答 日常生活の通勤・通学の流動等は、市内外ともに多いため、これを支える公共交通体系の維持確保を図っていく。

問 動物園の渋滞緩和策としての路線バスの乗り入れを急

ぐべきだが、今後の対応は。

答 渋滞緩和策として、駐車場の整備などを進めながら、事業者と協議していきたい。

再発言 1日も早いバスの乗り入れの実現に努められたい。

市立学校適正規模・
適正配置計画の見直し

問 これまでの再編の総括と課題を聞きたい。

答 円滑な移行とともに、各校の特色などを引き継げたと考えているが、再編後のアンケートで通学方法の変更など課題となる意見もいただいているため、今後に生かしたい。

問 市内6中学校の現再編計画に対し、新たに2つの再編案が出てきたが、その経緯は。

答 検討委員会の橘中学校の現地調査や協議の中で、敷地面積や高低差等により活用しづらいことから、事務局に近接校の活用案が求められた。

問 33年度までに再編予定だが、時間的に厳しいのでは。

答 学校の小規模化が進んでいるため、33年度としたいが、成案化に当たっては考慮の必要があるものと考えている。

問 今後の地域やPTAなどへの説明はどうするのか。

答 答申後、保護者、学校関係者、及び地域に説明し、広報にその内容を掲載したい。

